令和７年度　指定管理施設検証結果報告書

PLAN

施設名	道の駅甲斐大和			検証日	令和8年7月2日
所管課担当名	観光商工課　施設管理担当	課長名	林　正樹	作成者名	山形　勝一

指定管理者	名称	株式会社　エープレイス
	代表者	代表取締役　手塚　公彦
	所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野1811番地
	指定期間	令和6年（2024年）4月　～　令和11年（2029年）3月
管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地
	設置目的	地域産業の振興と市民の福祉の向上及び都市との交流を図ることを目的に、広く一般のための施設として、道の駅を設置する。

利用者	市民、市民以外	施設管理体制	15名	開館日時間等	○営業時間 売店9：00～18：00、軽食10：00～16：30、レストラン（味処そばの実）11：00～16：00 ○休業日 売店：毎週水曜日（4～11月、3月は無休）、軽食・加工体験施設：毎週水曜日、レストラン（味処そばの実）：毎週木曜日（1～2月は木・金曜日）、年末年始

事業概要

サービス提供の内容

指定管理業務

（1）経営管理業務
（2）施設及び設備の維持管理業務
（3）施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること
（4）その他日常業務
（5）施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕は除く）
（6）備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く）
（7）その他施設の管理に関すること
（8）業務の報告

自主事業

（1）そば切り発祥の郷づくり事業
（2）うらじろ（オヤマボクチ）を使った特産品開発
（3）市内外の観光イベント出店
（4）そば切り発祥の地を巡るスタンプラリーへの協力
（5）地元を中心とした農家との連携
（6）飲料等の自動販売機設置

DO

管理運営コスト推移（千円）		令和６年度（指定期間1年目）	令和７年度（指定期間2年目）	令和８年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和６年度（指定期間5年目）
予算	指定管理料	2,900	2,900			
	利用料金収入	129,950	144,850			
	その他収入	1,930	1,930			
	管理運営経費	134,780	149,680			
決算	指定管理料	2,900	2,900			
	利用料金収入	145,962	146,740			
	その他収入	2,074	2,403			
	管理運営経費	149,600	151,986			
	収支	1,336	57			

施設の稼動状況		令和６年度（指定期間1年目）	令和７年度（指定期間2年目）	令和８年度（指定期間3年目）	令和６年度（指定期間4年目）	令和６年度（指定期間5年目）
指標	施設利用者数（人）	162,928	161,946			

活動結果

・SNSの活用や市内外の観光イベントへの出店等で知名度の向上に取り組んでいるが前年度と比較して利用者は減少した（目標は達成）。特産品としてのうらじろ饅頭の製造や武田勝頼公グッズの販売、地元産そばの仕入に対する支援など幅広いニーズに対応する取り組みを行っており、市内外の利用者にとって欠かせない施設となっている。
・物価が高騰している中、光熱水費等は昨年度と比較し5%程抑えることができた。

CHECK

評価観点	評価（5 4 3 2 1）高 → 低	評価の説明
（1）事業の運営	4	・協定書に沿った管理運営が行われた。 ・そば切り発祥の地をPRするため、外部委託しているレストランの仕入れのサポートを行っており、レストランの安定運営やそば生産者の支援に繋がっている。 ・特産品としてのうらじろ饅頭の製造や武田勝頼公グッズの販売、地元産そばの仕入に対する支援など、幅広いニーズに対応する取り組みを行った。 ・SNSの活用や市内外の観光イベントへの出店等で広く情報提供を行い、利用者の獲得を図った。
（2）施設の維持管理	4	・日常点検、法定点検等を着実に行っており、指定管理者として対応すべき部分は積極的に対処している。緊急の対応にも指定管理者として素早く対応し、施設の健全化に努めている。 ・清掃員の直接雇用による、トイレおよび施設全体の美化推進が図られている。
（3）収入支出	4	・物価高騰の影響やキャッシュレス化の推進に伴う決済手数料の増加など経費が嵩む中で、収益確保に向けた様々な取り組みが行われ、当初の収支計画を上回る収支結果となった。
（4）総合評価 優良　良好　妥当　要改善　不適	良好	総合評価の説明（施設所管課による一次評価） ・施設の適正な維持管理を行いつつ、SNSの活用や市内外の観光イベントへの出店による情報提供を行うことや、特産品としてのうらじろ饅頭の製造、武田勝頼公グッズの開発、販売を始めるなど、集客に向けた様々な取り組みをしており、結果として目標利用者数に到達し、収益も確保できているため、良好と判断する。

ACTION

評価結果に対する施設所管課の対応

当面の課題	・県内で2番目に古い道の駅であり、施設の老朽化が進んでいるため、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていくことが必要である。
課題解決への対応	・指定管理者による日常点検や法定点検の結果等を元に指定管理者と協議を行いつつ、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていく。早期の対応によりトータルコストの抑制ができる可能性があるものは早期の実施を検討していく。

二次評価（公共施設活用等検討委員会での総括意見）

・仕様書及び協定書のとおり適切に運営されている。
・施設維持管理については、定期的な保守及び計画的な修繕、更新がされている。
・SNSの活用や特産品の製造、グッズの開発販売、市内外の観光イベントへの出店など集客に向けた様々な取り組みを行っていることは評価したい。
・物価高騰の影響もあり、更にキャッシュレス化決済手数料などの経費が嵩んだ中、様々な取組を実施し、当初を上回る収支結果となったことは評価したい。